

第5章 文化財の調査と課題

1 既存の調査の概要と課題

焼津市ではこれまでに、旧町村において町村史等が刊行されたり静岡県での調査が行われたり、現在でも民間による調査が実施され、市内文化財の把握に有益な情報となっています（表5-2「既存文化財調査一覧」参照）。旧焼津市内については、平成11年度（1999）から平成20年度（2008）まで行われた『焼津市史』編纂事業において、未指定文化財を含めて総合的な調査が行われました。しかし、その後の資料の保管状況などを含め、追跡調査が必要となっています。

大井川地区の文化財調査は昭和59年度（1984）から平成4年度（1992）に刊行された『大井川町史』まで遡りその後、平成17年度（2005）に大井川町制50周年事業として写真集が発刊されていますが、調査から年数を経ており、改めて当該地区の文化財の総合的な把握を行うことが求められます。

全体としては、各地区における特徴ある歴史的建造物の把握が進んでいないこと、存在は把握していても詳細な調査を行っていない古文書類が多いこと、未指定の無形民俗文化財について現在の状況の把握が十分でないことなども課題に挙げられます。また、『地域計画』は幅広い分野の文化財を対象とするため、『焼津市史』や『大井川町史』の編纂時点では把握しきれていなかった文化財についても、総合的な調査が必要となります。現存するものについては新たに映像等による記録も検討すべき課題です。そのうえで、保存・活用を推進すべき文化財を明確化すること、未指定文化財を含む継続的調査体制の確立が課題です。

さらに、既に失われてしまった文化財に関しても、過去の文献や聞き取り調査などによって拾い上げ、記録化やリスト化を行い、焼津らしい歴史文化を後世に引き継ぐ必要があります。

未指定文化財のうち、建造物調査については、『焼津市史』編纂時に寺社建築の棟札等の確認や図面作成等の記録を行っています。民家や近現代建築物については浜通り地区（瀬戸川流域）で漁村の歴史的建造物などを一部調査していますが、全体的に把握は不十分です。現大井川左岸域は寺社建築を含めて調査が必要です。建造物のうち石造物は『焼津市史』『大井川町史』などでも部分的な調査にとどまっています。

美術工芸品は、建造物と同じく『焼津市史』編纂時に絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書の調査を行っており、『焼津市史』に一部を掲載していますが、すべての対象は把握できておらず、改めて総合的な把握が必要です。とくに現大井川左岸流域については、『大井川町史』の調査から年数を経ており、今後、本格的な調査が必要となります。

美術工芸品のうち、彫刻については、市内全域で近世以降につくられた仏像も含め、再調査が必要です。古文書については、5万件以上を確認していますが、内容の精査までは行えていません。考古資料は、周知の包蔵地を把握して文化財保護法に基づく調査を実施し、主な遺物は復元や保存処理を行い、『焼津市史』で紹介したり歴史民俗資料館で展示したりしています。しかし、約2,600箱の資料のなかには、周辺地域の新しい発掘調査成果を勘案しつつ、再検証を行うべき遺物が含まれます。

無形文化財については、建造物、美術工芸品と同じく『焼津市史』『大井川町史』などで調査を行っていますが、調査から年数を経ており、改めて総合的な把握が必要です。現大井川左岸流域では、

種類・分類			調査状況				備考
			高草山 周辺	瀬戸川 流域	旧大井川 本流域	現大井川 左岸域	
有形 文化財	建造物	寺社	○	○	○	×	<ul style="list-style-type: none"> ・焼津市史の編さん時に、高草山周辺、瀬戸川流域、旧大井川本流域の寺社については、棟札等の確認と図面の作成等記録を取っていて、その成果は焼津市史下巻に一部掲載。民家や近現代建築物については、調査が不十分。現大井川左岸流域については、本格的な調査が必要。 ・石造物については、全域で部分的にしか把握していないため、悉皆調査が必要。
		その他 伝統的 建築物等	△	△	△	×	
		石造物	△	△	△	△	
	美術 工芸品	絵画	○	○	○	△	
		彫刻	○	○	○	△	
		工芸品	○	○	○	△	
		書跡・典籍	○	○	○	△	
		古文書	△	△	△	△	
		考古資料	△	△	×	△	
歴史資料	○	○	○	△			
無形文化財			○	○	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高草山周辺、瀬戸川流域、旧大井川本流域については、調査済み。現大井川左岸流域については、今後、本格的な調査が必要。
民俗 文化財	有形民俗文化財	○	○	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高草山周辺、瀬戸川流域、旧大井川本流域については、焼津市史「民俗編」編さんのため、全地区で「民俗基礎調査票」を配布し、代表者から聞き取り調査をおこなっている。その中から、代表的な4地区を選び、調査報告書をまとめている。4地区以外については、追加調査が必要。 ・現大井川左岸流域については、部分的な把握にとどまるため、今後、本格的な調査が必要。 	
	無形民俗文化財	○	○	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高草山周辺、瀬戸川流域、旧大井川本流域については、焼津市史編さん時に、特徴的な4地区を選び、調査報告書をまとめている。4地区以外については、追加調査が必要。 ・現大井川左岸流域については、部分的な把握にとどまるため、今後、本格的な調査が必要。 ・全地区において、世代交代等により失われつつある年中行事や民間信仰等については、調査が急がれる。 	
記念物	遺跡（史跡）	○	○	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高草山周辺、瀬戸川流域、旧大井川本流域については、おおむね把握している。 ・現大井川左岸流域については、部分的な把握にとどまるため、今後、本格的な調査が必要。 	
	名勝地（名勝）	○	○	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高草山周辺、瀬戸川流域、旧大井川本流域については、おおむね把握している。 ・現大井川左岸流域については、部分的な把握にとどまるため、今後、本格的な調査が必要。 	
	動物・植物・地質鉱物 （天然記念物）	○	○	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高草山周辺、瀬戸川流域、旧大井川本流域については、おおむね把握しているが、追跡調査が必要。 ・現大井川左岸流域については、部分的な把握にとどまるため、今後、本格的な調査が必要。 	
文化的景観			△	△	△	△	・調査不足
伝統的建造物群			△	△	×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・高草山周辺については、花沢地区が伝建地区となり調査報告書がある。瀬戸川流域では、浜通り地区で一部調査がおこなわれている。 ・その他の地区では、該当調査無し。
その他の文化財			△	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高草山周辺、瀬戸川流域、旧大井川本流域においては、焼津市史編纂時に一部を調査しているが、調査不足 ・現大井川左岸域については、悉皆調査が必要

○…調査実施済 △…調査不足 ×…該当調査なし

表 5-1 市内未指定文化財調査状況

部分的な把握にとどまるため、今後、悉皆調査が必要となります。

民俗文化財については、『焼津市史』民俗編編纂時に旧焼津市域（高草山周辺、瀬戸川流域、旧大井川本流域）の全地区に「民俗基礎調査票」を配布し、代表者から聞き取り調査を行いました。その中から花沢地区、浜当目地区（以上、高草山周辺）、浜通り地区（瀬戸川流域）、本中根地区（旧大井川本流域）で調査報告書をまとめています。4地区以外については、追加の調査が必要となりますが、総合的調査を行った4地区についても世代交代が進んでおり、追跡調査が必要です。現大井川左岸域では、部分的な把握にとどまるため今後、調査が必要です。なかでも、無形民俗文化財に含まれるに年中行事や民間信仰等については、全地区において世代交代等により失われつつあるため、映像記録を含めた調査が急がれます。

記念物のうち遺跡と動物、植物、地質鉱物（天然記念物）は、現大井川左岸域を除いておおむね把握していますが、高草山の希少種の植生、天然記念物の状態については変容がないか追跡調査が必要です。名勝地は、現大井川左岸域を除いておおむね把握していますが、景観の調査と関連して今後の課題です。本計画に従い総合的に把握して、価値を整理し直す必要があります。なお、未指定文化財のうち伝統的建造物群については、浜通り地区（瀬戸川流域）で一部調査を実施していますが、花沢を除く高草山沿いの山村集落、海辺の漁村集落、平地の散居村集落など、焼津らしいまちなみの把握を進める必要があります。

この他、伝承、昔話、地名、屋号、方言や、かつて行われていた行事などの未指定文化財についても、『焼津市史』や『大井川町史』編纂時に一部を調査しているものの、把握が十分でないため、改めて調査を行うことが求められます。

これらの文化財については、悉皆調査（同類型の文化財を一括して調査する）・追跡調査（過去に調査した文化財の状態などを調査する）・詳細調査（調査が十分でなかった文化財を調査する）などの調査が必要となります。特に文化財の把握や価値づけのための調査が十分でないものは以下の文化財です。

【特に把握、調査が十分でない文化財】

- ・大井川地区（現大井川左岸域）の文化財全般
- ・各地区の石造物
- ・各地区の特徴を備えた歴史的建造物（伝統的建造物群）
- ・文化財6類型のほか、伝承、昔話、地名、屋号、方言、かつて行われていた行事など
- ・歴史と文化を伝える景観
- ・存在は把握しているが内容の精査に至っていない未指定文化財（古文書50,298件など）
- ・各地区での祭礼など伝統行事の実施状況

種類	調査年代	調査対象・調査地区	調査者	報告書等刊行物
旧町村史等	大正元年(1912)	旧相川村	相川村	『相川村誌』
		旧静濱村	静濱村	『静濱村誌』
	大正2年(1913)	旧焼津町域	焼津町	『焼津町誌』
		旧東益津村	東益津村	『東益津村々誌』
		旧和田村	和田村	『志太郡和田村誌』
	昭和29年(1954)	旧吉永村	吉永村	『吉永村誌』
		旧小川町域	小川町役場	『小川町誌』
	昭和29年(1954)	旧大富村	大富村	『大富村史』
		旧小川村	小川尋常高等小学校 (川村積造)	『小川村誌』
	昭和37年(1962)	東益津	浜当目船元会	『東益津漁業誌』
	昭和53年(1978)	塩津	個人(志村栄、甲賀秀一)	『塩津の記録』
		新屋	個人(渡仲仲司郎記述、 寺尾賢次校訂)	『昔の新屋』
	昭和54年(1979)	大富地区	市立大富中学校郷土研究部	『大富のむかし』
	昭和55年(1980)	和田地区	市立和田中学校	『和田浦なしの里焼津和田』
	昭和56年(1981)	焼津北村(現駅北、 大栄町、栄町、大村)	焼津北区	『焼津北区と氏神様』(昭和56年刊行)
		五ヶ堀之内	第9自治会第1支部	『ふるさとのおゆみ』
		石津	石津共栄会	『石津共栄会誌(石津の歴史)』
	昭和57年(1982)	東益津地区	東部コミュニティ推進協議会	『ふるさと東益津誌』
		東益津地区	山西郷土広育同好会	『焼津高草山麓周辺点描史話-焼津辺の道-』
	昭和59年(1984)	越後島	社会学級えちご会	『越後島の昔』
		豊田	市立豊田小学校	『豊田のむかし』
	昭和60年(1985)	大富街道	市立大富小学校	『大富街道の歴史--街並みの形成と変遷』
		旧中地区(現駅北、中港)	個人(渡仲仲司郎)	『第五自治会郷土の歩み』
		与惣次	個人(鈴木勝)	『與惣次誌』
	昭和62年(1987)	和田地区	市立港小学校	『木屋川のほとり』
		方ノ上	個人(山田太七)	『駿州益津郡方ノ上村史』
	平成元年(1989)	東益津	個人(山田太七)	『高草山麓史余話』
	平成3年(1991)	豊田	豊田歴史と文化を学ぶ会	『新編 豊田村誌』
	平成5年(1993)	浜当目	浜当目中老会	『ふるさと浜当目』
	平成6年(1994)	坂本	坂本区	『さかもと今昔』
	平成7年(1995)	旧大井川町域	個人(杉本覚朗)	『大井川町今昔』
	平成12年(2000)	下江留	個人(杉谷敏雄)	『大井川町下江留区史』
	平成13年(2001)	保福島	保福島地区	『保福島今昔』
上小田地区(現三和)		500年記念執行委員	『ふる里上小田村』	
平成16年(2004)	道原	個人(大坪三郎)	『語り継ぐ道原史』	
平成22年(2010)	三右衛門新田	三右衛門新田中老会	『三右衛門新田中老会30周年記念誌』	
平成27年(2015)	上新田	個人(飯塚龍二)	『ふるさと上新田』	
随時更新	和田地区	個人(長澤貞彦)	『和田の辻』	
不明	新屋	個人(渡仲仲司郎)	『新屋の昔話の覚え書き』(不明)	
文化財	昭和45年(1970)	旧大井川町域	大井川町文化財保護審議会	『郷土の文化財』
建造物	平成16年前後	旧焼津市域、神社中心	焼津市史編さん委員会	『焼津市史下巻』に一部調査成果掲載
石造物	昭和60年代	旧焼津市域のみ	市立大富中学校郷土研究部	『歴史を垣間見る焼津の石碑』
	平成5年(1993)	旧大井川町域のみ	大井川町教育委員会	『大井川町史(仮)資料編9金石文』
	平成10年頃～	東益津地区のみ	焼津市史編さん委員会	報告書等無し/調査台帳のみ
美術工芸品	平成16年前後	旧焼津市域、寺院中心	焼津市史編さん委員会	『焼津市史下巻』に一部調査成果掲載

表5-2-1 既存文化財調査一覧(旧町村史含む)

種類	調査年代	調査対象・調査地区	調査者	報告書等刊行物	
棟札	平成 16 年前後	旧焼津市域	焼津市史編さん委員会	『焼津市史下巻』に一部調査成果掲載	
古文書	昭和 47 年～	旧焼津市域のみ	焼津市立図書館	『焼津市近世史料集』（昭和 62 年刊行）	
	昭和 60 年～	焼津市域	静岡県史編さん委員会	『静岡県史資料編』	
	平成 5 年（1993）	旧大井川町域のみ	大井川町教育委員会	『大井川町史（仮）資料編 1～8』	
	平成 10 年代	旧焼津市域のみ	焼津市史編さん委員会	『静岡県焼津市所在文書目録』全 8 冊	
無形文化財	平成 9 年頃	焼津だるま、上新田だるま、宗高凧、焼津魚凧、弓道具（矢・ゆがけ）、志太天神、志太杜氏、サクラエビ、黒はんぺん、和船、製塩	志太広域事務組合	『志太の伝統産業 伝統の技』①②	
民俗	昭和 63 年（1988）	旧大井川町域 年中行事・昔話	大井川町婦人団体連合会	『ふるさとの年中行事』	
	平成 3 年（1991）～	旧焼津市域、旧大井川町域	富士市立博物館	『富士塚調査報告書』	
	平成 4 年（1992）	浜通り地区の漁業習俗中心	個人（北原吉右衛門氏）	私家版『漁方雑話』	
	平成 5 年（1993）	旧焼津市南部 （黒石川・木屋川周辺）	焼津市南部 土地区画整理組合	『ヤシャンポー』	
	平成 5 年前後	石津地区	静岡県教育委員会	『静岡県史民俗調査報告書第十八集 石津の民俗』	
	平成 10 年代	花沢、浜当目、浜通り、 本中根	焼津市史編さん委員会	『焼津市史民俗調査報告書』全 4 冊	
	平成 12 年頃	旧焼津市域	焼津市史編さん委員会	報告書は無し、調査票のみ この調査を元に 4 冊の民俗調査報告書 と『民俗編』を編さん	
	平成 17～19 年度	焼津漁業資料館	焼津市史編さん委員会	報告書無し リストと写真は有	
	平成 23 年（2011）	吉永上田中地区	吉永第 4 町内会 上田中墓地管理組合葵会	『わが郷土「上田中」の民俗史跡』	
無形 民俗文化財 （祭礼）	昭和 53 年（1978）	旧大井川町域	大井川町教育委員会	『大井川町の民俗芸能』	
	平成 6 年（1994）	焼津神社獅子木遣り、 藤守の田遊び	静岡県教育委員会	『ふるさと静岡県文化財写真集 4 民俗文 化財・無形文化財編』	
	平成 7 年（1995）	焼津神社獅子木遣り	焼津市教育委員会	『ふるさと民俗芸能ビデオ No. 9 焼津神社 獅子木遣り』	
	平成 10～12 年度	吉永八幡宮大名行列	大井川町教育委員会	『県記録選択「大井川下流域の大名行列・ 奴道中」記録作成事業報告書 吉永八幡 宮大名行列』	
	平成 16 年（2004）	藤守の田遊び	大井川町教育委員会	『文部大臣指定重要無形民俗文化財 藤 守の田遊び』	
	平成 17 年（2005）	藤守の田遊び	大井川町教育委員会	『大井川町制 50 周年記念事業「藤守の 田遊び伝承千年記念誌』	
動物、植物、 地質鉱物 （天然記念物）	平成 5 年（1993）	旧大井川町域 動物、植物、昆虫	大井川町教育委員会	『大井川町史（仮）資料編』3 冊	
重伝建	平成 18 年頃	花沢	焼津市教育委員会	『焼津市花沢 伝統的建造物群保存対策 調査報告書』	
その他	昔話	昭和 54 年（1979）	旧大井川町域	町立大井川西小学校	『大井川ものがたり 子どもがつくった むかしばなし』
		昭和 57 年（1982）	旧焼津市域	焼津市	『やいづの昔話』
			豊田地区のみ	豊田公民館	『とよだのむかしばなし』
	方言	平成 2 年ほか 平成 16 年ほか	旧焼津市域のみ	石田茂	『私の焼津地方の言語集』
			浜通り地区中心	焼津の浜言葉を遺す会	『遺したい焼津の方言と浜言葉』
	字名	昭和 62 年（1987）	旧焼津市域のみ	高橋道雄	『焼津市の名字（ランキング 200）』
	屋号	平成 26 年（2016）	焼津市内水産業者のみ	焼津信用金庫	『屋号のまち焼津』

※『静岡県史』ほか静岡県の各調査については、焼津市に特化した調査報告書のみ掲載

表 5-2-2 既存文化財調査一覧（旧町村史含む）